

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年1月20日

事業所名 てらびあぼけっと四日市富田教室

保護者等数(児童数)42人 回収数 36人 割合 86%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	36件				○広く整理されている環境で療育が行われていると思います。	○引き続き、安全面に配慮しスペースの確保に努めて参ります。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	34件			2件		○指定基準を満たしており、適切に配置しております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	33件	2件		1件		○お子様が課題に集中して取り組めるよう、引き続き環境設定を行って参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	36件					
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	36件					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	35件			1件		○事業所内での支援にこだわらず、家庭支援などを積極的にを行い、より包括的にお子様やご家族を支援出来るよう努めて参ります。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	35件			1件		○支援計画に沿った支援を行っておりますが、その都度、ご家族のニーズに合わせて支援内容を調整して参ります。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	30件	2件		4件		○お子様の成長段階に合わせたプログラム設定を行い、充実した支援を図って参ります。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10件	2件	8件	16件	○幼稚園も通っているため、問題ない。	○将来的に近隣施設での関わりが持てそうな機会を探し交流の機会を検討して参ります。 ○今後も通園先との情報共有に努めて参ります。
保護者 への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	36件					○今後も丁寧に説明することを心がけて参ります。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	35件			1件		○今後も計画更新の都度、簡潔明瞭に保護者様に御説明させていただきます。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	16件	4件	7件	9件	○自分で実施していないため分からないです。	○必要に応じて、教室にてホームセラピーをご提案しておりますので、お声掛けください。 ○今後も日々のフィードバックな中や面談時に課題の聞き取りやご相談に対して助言を行って参ります。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	36件					
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	34件	1件		1件	○定期的に助言や支援する事が少ない ○通所したばかりで分かりません。 ○面談ではゆっくり見学できる時間もあり、しっかり対応をして頂いている。	○定期的に面談時や日々のフィードバック時にお話させていただいておりますが、電話での助言や個別での面談でも可能ですので、お声かけ下さい。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3件	1件	23件	9件		○今後アンケートの実施を行うなどしながら、検討して参ります。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	32件	2件		2件		○今後も保護者様やお子様からの相談を迅速に対応して参ります。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	34件	2件			○スペースの関係上、仕方がないがフィードバック時に他の保護者を気にしてしまう。	○フィードバック時のスペースを大きく確保が出来ず申し訳ありません。今後もフィードバック時は配慮を行いつつ進めてまいります。また、ご希望に応じて個別での面談を行いご相談に乗らせていただきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	13件	1件	3件	19件	○ホームページに掲載しているかも知れないが、確認はしていない。	○2023年12月にホームページを作成致しましたので、情報発信をして参ります。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	35件			1件		○個人情報には鍵付きロッカーにて厳重管理しております。引き続き、個人情報については気を付けて取り扱い致します。
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	27件	1件		8件	○マニュアルの説明はあったが、訓練の実施を行っているかは不明。	○各マニュアルを策定しておりますが、定期的に見直しを行い、最新版を整えております。 ○避難場所は教室内に掲示しております。 ○災害別に避難訓練をしており、ホームページで訓練の実施状況を発信して周知して参ります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19件	1件	3件	13件		○災害別に避難訓練をしています。ホームページで訓練の実施状況を発信して周知して参ります。
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	33件	2件		1件	○毎週とても楽しみにしています。帰ってくる機嫌が良いです。 ○最近は泣いてしまう事が多いですが、始まったら楽しくしています。 ○日によりけりですが、概ね楽しく通所しています。 ○先生たちが出来た事をきちんと褒めてくれるので、楽しく通所出来ています。子供の様子を見ながら細かく丁寧に教えてくれる。 ○子供に合った活動で成長している実感があり通所出来て良かったです。	○『楽しく通所してます』『嬉しそうに』など、たくさん嬉しいお言葉を頂き、ありがとうございます。今後も楽しく笑顔になるプログラムを検討して参ります。
	23	事業所の支援に満足しているか	35件			1件	○出来る事が増えてきました。 ○しっかりと、プログラムを組み、子供に合わせて個別対応されている。 ○フィードバックでは子供の様子を毎回教えてくれるなど安心して通所出来ています。子供の様子を見ながら細かく丁寧に教えてくれる。 ○子供の成長が実感出来て良かったです。	○今後もお子様の様子にあわせて、より良い療育を実施出来るよう努めて参ります。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 1 月 20 日

事業所名 てらびあぼけつと四日市富田教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5件		十分なスペースを確保し療育支援を実施しています。	引き続き、必要のない物を選別し、安全面を優先する。
	2 職員の配置数は適切である	5件		指定基準を満たしており、適切です。	病欠などの欠員が出た時の人員の余裕がないため、人員増加。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5件		絵カード等を使って、見通しを持てるように支援しています。バリアフリーにも対応しており、大部屋と小部屋の使い分けなどご利用者様に合わせた対応を実施しています。	棚や机・椅子等の角辺をクッション材で保護を行い怪我防止対策を実施。 洗面台の工事を実施し、子供の高さに再調整を行いました。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5件		支援開始前及び支援終了後の掃除及びおもちゃの消毒をクール毎(1日3回)に実施し、衛生管理の徹底を行っている。子供達の活動に合わせ玩具の配置等を常に見直しの実施を行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5件		朝礼・終礼のミーティングで振り返りや改善案の話し合いができています。定期的に振り返りができています。個々で目標シートを作成し、日々の終礼で振り返りの実施を行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5件		年に一回行っており、アンケートの実施ができています。	アンケートの結果を受け止め、改善点を検討していきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5件		年に一回、アンケートの実施を行っており、本部ホームページ上で評価表を公開しています。	2023年12月より自社ホームページを作成しました。今後は自社ホームページにおいても情報公開実施。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5件	てらびあぼけつと本部に支援に関わる相談の機会を設け、都度適切な指導・アドバイスを受けています。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5件		非常勤者も含めすべてのスタッフが受講したい本部研修に自発的に参加を行い、受講内容をスタッフ内で情報共有を行っています。	引き続き、月に1~2回の本部研修を受講する。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5件		児童発達支援管理者及びスタッフでアセスメントを実施し、それらを踏まえて、保護者との定期的な個人面談を実施しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5件		機能分析をし、825項目のアセスメントツールを使用しながら状況把握を行っており、統一された評価を心がけています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5件		児童発達支援ガイドラインに基づき、支援内容を設定しています。適宜アセスメントを行い、ニーズに合わせて検討の設定を実施。個々に合わせた内容で計画が作成されている。	カンファレンス議事録に話し合った内容をまとめ、各項目に仕分けています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5件		全スタッフで、支援計画を共有しながら支援を実施しています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5件		担当制を実施し、児童発達支援管理者と一緒にプログラムの立案を行っています。また、社内で内容を相談したり協力を仰いだりしています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5件		活動プログラムが固定化されないように、てらびあぼけつと独自の様々なプログラムを活用し、スタッフ間でもプログラム内容を共有しています。リズムワークで子供に合わせて毎回、曲や動きを変えたり、集団活動では同じものが被らないように工夫しています。	必要なものは継続し行いつつ、発達に合わせた新しい課題も入れています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5件		子どもの状況及びアセスメントに沿って、個別・集団を適時判断しながら支援計画を作成しています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5件		毎日、支援開始前に朝礼を実施し、打ち合わせ・情報の共有・支援の内容や役割分担を確認しています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5件		支援終了後に、終礼を実施し、支援の振り返りなどをスタッフ間で情報共有しています。情報共有シートを個人別に作成しています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5件		支援ノートを利用毎に記入し次回の支援につなげています。毎回セラピーごとに記録を取り、検討が出来る。気づいた点も共有だけでなく困った点、悩んだ点等について相談しあっている。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5件		定期的にモニタリングを実施し、スタッフ間で情報を共有しながら、支援の見直しの必要性を判断しています。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5件		相談支援員様と連携しながら児童発達支援管理者がサービス担当者会議に出席しています。	児童発達支援管理者が主に出席しているが、人員に余裕があれば、担当者の参加も検討していきたい。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5件		行政及び相談支援事業所と連携し支援を行っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	該当なし			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	該当なし			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5件		相談支援員を通して、情報共有を行っています。	幼稚園や保育園から対象児の見学希望があれば、保護者同意のもと、見学の実施と情報共有を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5件		相談支援員を通して、情報共有を行っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5件		児童発達支援センターと連携し、保護者及び児童に対する助言を頂いています。他事業所と連携し、お子様の様子を共有する事例もあり。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5件			近隣施設との交流が可能であれば検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5件			近隣施設との交流が可能であれば検討していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5件		お迎えの際のフィードバックや連絡帳を通して共有が出来ている。セラピーノートを利用しながら、内容を口頭でも伝え、フィードバックの時間を設けています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5件		送迎時や面談時にお困りごとがあれば、支援方法や手立てをお伝えしています。	各家庭で出来ることを支援できるように、引き続き研修受講を通して個人のスキルアップを行います。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5件		ご契約時に1時間ほど使い、丁寧に説明を行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5件		計画された内容を保護者に説明し、ご理解を頂いた上で同意を得ています。また、モニタリング時期以外においても適時実施しています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5件		保護者様から相談の依頼があった際は、個別に必要な助言と支援を行っており、場合によっては面談も行っていきます。	一方的な助言とならないよう保護者と対話を通して悩みを聞き取り、適切に応じようとして工夫しています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5件			今後、アンケートの実施を行うなどしながら、検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5件		保護者様から相談や申し入れがあった際は、迅速かつ誠実に対応・解決を行います。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5件			2023年12月に、自社ホームページを作成したので、ホームページを活用しながら情報発信を行う。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5件		スタッフ全員に個人情報の取り扱いについて周知徹底しており、個人情報は鍵付きのロッカーに保管しています。不要な書類はシュレッダーにて裁断し廃棄しています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5件		絵カードを使用し視覚的に支援を行う等の配慮をしています。	特性に応じて分かりやすい説明を心掛ける。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5件			地域との交流はまだないが、今後機会があれば検討していく。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5件		各種マニュアルを策定し定期的に訓練を実施しています。子供に対しセーフティーハネスの装着練習なども行っています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5件		年に2回以上実施しています。セーフティーハネス装着の練習や保護者に避難先の周知を行っています。	避難訓練時に物品の確認等も実施しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5件		ご契約時に事前モニタリングを通してお子様の状況を確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5件		ご契約時にお子様の状況を確認しております。また、当教室では食事の提供時間はありません。	食事する機会は原則ないが、アセスメント時に情報収集しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5件		ヒヤリハットの発生時は、その時の状況を室内カメラでスタッフ内で確認し対策を講じる。終礼後に毎時、ヒヤリハット事例を作成しスタッフ内で共有しています。	5S(「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「躰」)を徹底し教室内の安全管理を徹底する。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5件		社外研修への出席と社内研修も行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5件		ご契約時に重要事項説明書で説明を行っており、保護者様にご理解を頂いています。	身体拘束が必要なお子さまがないので説明は行っていない。必要時には事前に説明を行い計画に記載します。